

LIXIL

ユニバーサルデザイン
コンセプトブック



LIXILユニバーサルデザイン
ひとりにいい、みんなにいい。

ひとりにいい、みんなにいい。

LIXIL ユニバーサルデザイン



INDEX

LIXIL ユニバーサルデザイン方針 2

住まいのユニバーサルデザイン 4

UDアイデア

トイレ 6

浴室 8

洗面化粧室 10

キッチン 11

リビング 12

階段・廊下・玄関ホール 14

玄関ポーチ・エクステリア 15

パブリックトイレ 16

まち 17

製品の研究・開発 18

ユニバーサルデザイン空間検証の取り組み ... 20
(ユニバーサルデザイン検証スペース)

LIXIL ショールームのユニバーサルデザイン... 22

「ユニバーサル社会」の実現のために、... 23
LIXIL ができること

LIXIL ユニバーサルデザインの歩み ... 24

本冊子「LIXIL ユニバーサルデザイン」は、色弱模擬フィルタ
「バリエントール」、および「白内障擬似体験ゴーグル」にて、
視認性の検証を行い、より多くの方にとって読みやすい誌面
をめざして制作しました。

ひとりにいい、みんなにいい。

LIXILは、子どもからお年寄りまでのひとりひとりが
豊かで快適な住生活をおくるために、
さまざまな視点からのアイデアを取り入れた
製品やサービスをつくり出し提供していきます。





LIXILユニバーサルデザイン ひとりにいい、みんなにいい。

ひとりひとりの暮らしを育てる、みんなの暮らしを育てる。
LIXILは、子どもからお年寄りまでのひとりひとりが
豊かで快適な住生活をおくるために、さまざまな視点からの
アイデアを取り入れた製品やサービスをつくり出し提供していきます。

[LIXIL ユニバーサルデザイン方針]

使いやすい

動作や操作がラク
フレキシブル

わかりやすい

直感的にわかる
きちんと伝わる

安全が安心に

誰にでもやさしい
子どもにも安心

愛着がわく

永く使える
笑顔が広がる

LIXIL ユニバーサルデザイン (UD) がめざすこと

高齢社会の現在、子どもも大人も家族みんなが気持ちよく暮らしたい。さらに十年、二十年先、いずれ年老いたり、けがをしたり、障がいを負ったりしてもいつまでも快適に過ごしたいと誰もが願うものです。住まいは、家族みんなが使うもの。さまざまな身体状況への対応が求められます。

子どもからお年寄りまで世界中のひとりひとりが、「わかりやすい」「使いやすい」「安全が安心に」「愛着がわく」 製品・サービスの提供と、ひとりひとりの変化に応じた空間づくりをめざしています。

わかりやすい

直感的にわかる

- 誰でも察知できる
- 複雑さがない

きちんと伝わる

- 正しく認識できる
- 視覚・聴覚・触覚情報が複数用意されている

使いやすい

動作や操作がラク

- 簡単に操作できる
- 姿勢や身体の動きに無理がない寸法・形状である
- 動作の流れに沿ってレイアウトされている
- 動作のためのスペースが確保されている

フレキシブル

- 身体の状況変化、家族の成長に対応できる
- 必要な機能を選択・追加できる

安全が安心に

誰にでもやさしい

- 誤った使い方をしても人や財産に損害をあたえない
- 事故が起こっても被害を最小限にとどめる

子どもにも安心

- 子どもの特性を考慮した設計である

愛着がわく

永く使える

- 永く使える品質である
- お手入れがしやすく、いつまでもキレイに使える
- 暮らしになじむデザインである

笑顔が広がる

- 美しく、心地よいデザインである
- 使うたび、機能美が感じられる

住まいのユニバーサルデザイン

■階段・廊下 14 ページ

【階段】

手すりについたLEDライトで深夜の歩行を安全に。

【手すり】

場所に合わせてフレキシブルに設定できる手すりは階段にも最適です。



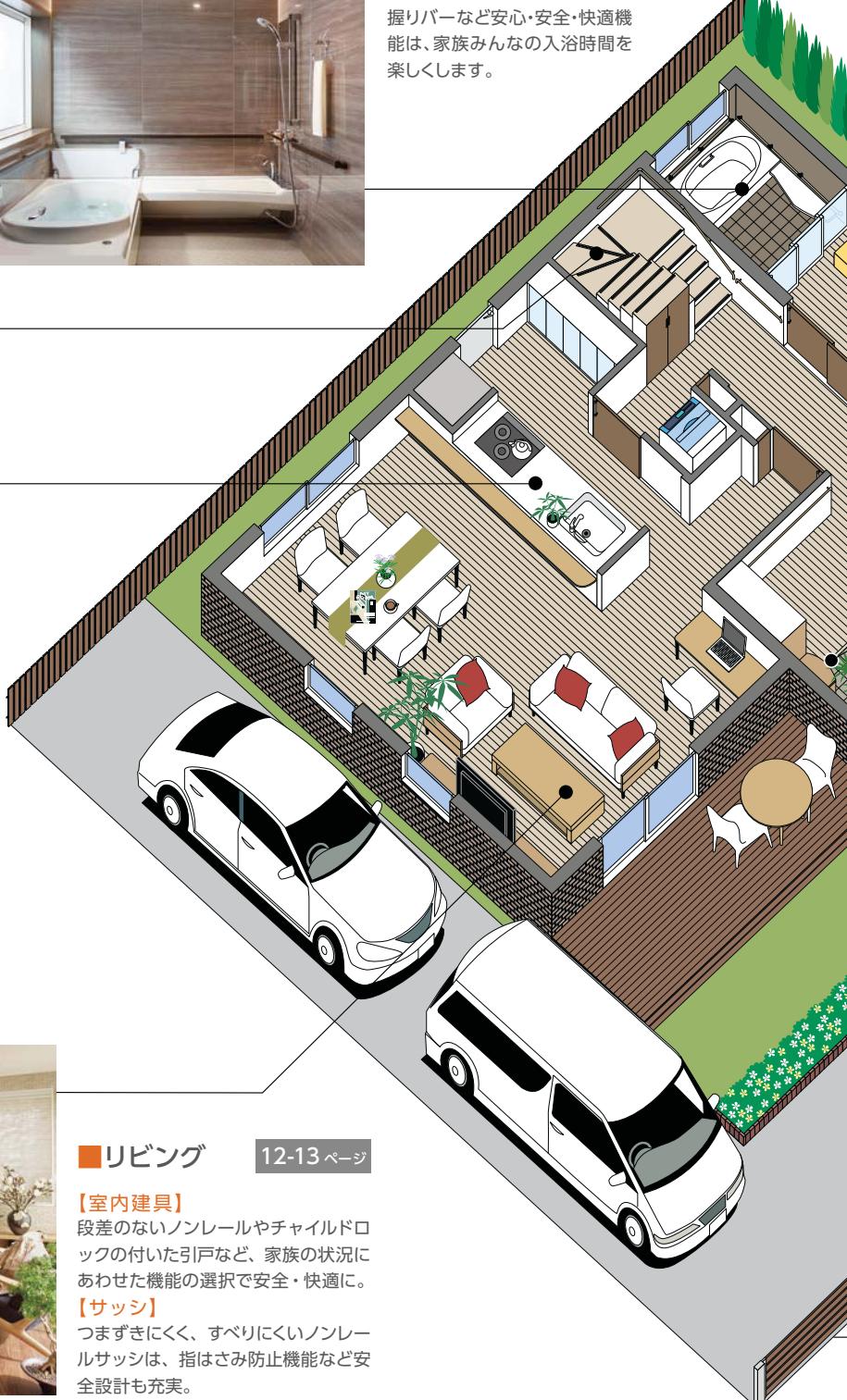
■浴室 8-9 ページ

開け閉めしやすい引戸、入口段差解消や「ヒヤッ」としない床、握りバーなど安心・安全・快適機能は、家族みんなの入浴時間を楽ししくします。



■キッチン 11 ページ

対面キッチンは、調理や後片付けも家族の真ん中に。タッチレスタイプの水栓や軽く引き出せたりどこに何があるか見やすい収納など、安全性や家の負担を軽減する機能が充実。



■リビング 12-13 ページ

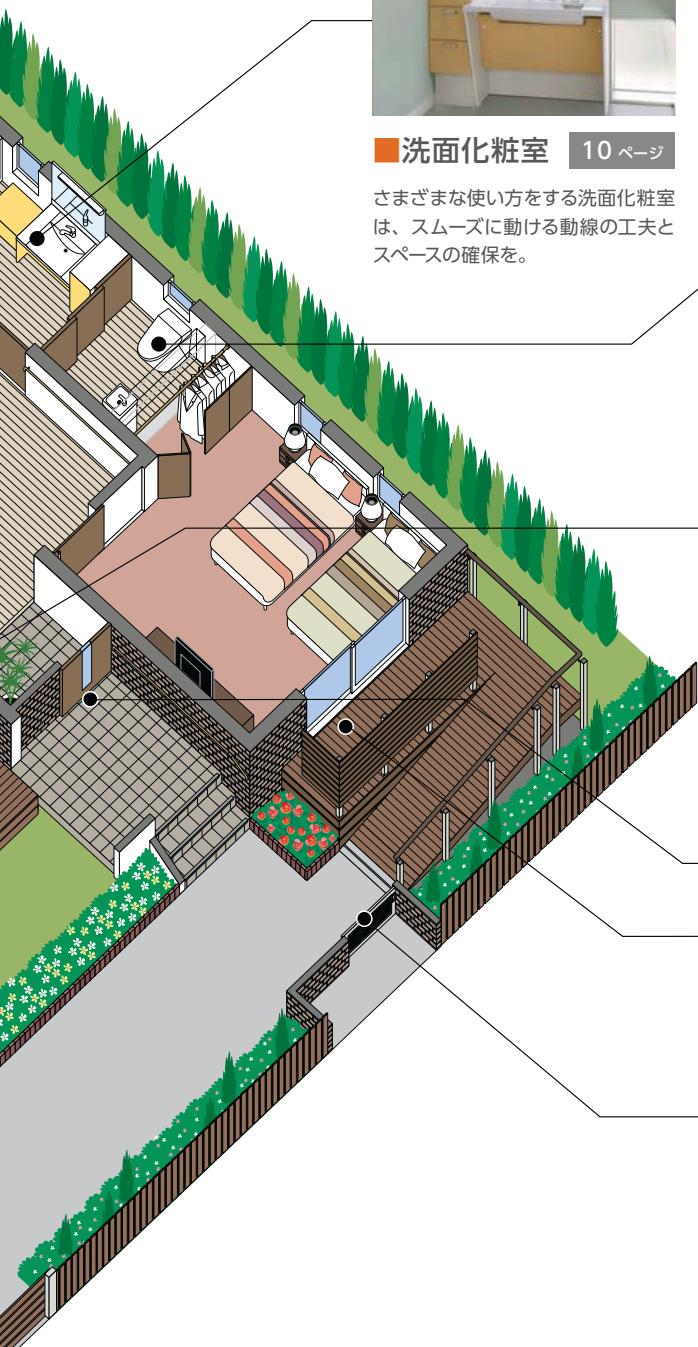
【室内建具】

段差のないノンレールやチャイルドロックの付いた引戸など、家族の状況にあわせた機能の選択で安全・快適に。

【サッシ】

つまずきにくく、すべりにくいノンレールサッシは、指はさみ防止機能など安全設計も充実。

LIXILは、UDアイデアを盛り込んだ製品だけでなく、その取り付け位置や組み合わせ、空間の広さやスペースの取り方、動線などの計画を通して、暮らしそのものがユニバーサルデザインであることが大切だと考えています。



■洗面化粧室 10 ページ

さまざまな使い方をする洗面化粧室は、スムーズに動ける動線の工夫とスペースの確保を。



■トイレ 6-7 ページ

コンパクトトイレで空間を広く。トイレ内動作や介助スペースの確保、手すりの設置で安全に配慮。自動開閉の便フタやお掃除リフトアップなど充実の機能で安心・安全・快適な空間に。



■玄関ホール 14 ページ

【ベンチ】
靴の脱着もベンチに座ってラクに行えます。



■玄関ポーチ 15 ページ

【玄関ドア】
開口巾や段差に配慮するだけでなく、エントリーシステムでカギの開け閉めが簡単に。

【手すり】
歩行補助用として手すりがあると安心です。



■エクステリア 15 ページ

【スライド門扉】
開口巾が広くスライド式でお子さま連れや車椅子使用の方も入りしやすく。



■エクステリア 15 ページ

【ウッドデッキ】
スロープ付きデッキで、車椅子で直接部屋に入りすることもできます。

戸建住宅（1階）のモデルプラン

UDアイデア

ユニバーサルデザイン視点のアイデアにあふれた
製品の研究・開発を進めています。

UDアイデア

トイレ

毎日使うトイレ、みんなが使うトイレだからこそ気持ちのよい空間にしたい。スペースにゆとりを持たせ、ひとつひとつの動作をスムーズにできること。夜中でも安心して使えること。できるだけ永く自分で用が足せること。介助する人も一緒に入れるスペースがあること。ひとりひとりの変化に応じた空間を提供できるよう、トイレ空間の可能性をひろげるアイデアを考えています。



奥行きコンパクト設計

従来のタンク式(奥行寸法790mm)に対して、「サティスSタイプ」は650mmとコンパクト化。動作空間が広がります。



フルオート便座

便器の前に立つと自動で便フタが開閉。かがんで開け閉めしなくてもすむので、足腰への負担が軽くなります。



ほのかライト

夜中のトイレ使用でも眠気を覚えしすぎない、やさしい明るさの照明。センサーが人を感じて、便器内部・足元、手洗器周辺を照らします。



お掃除リフトアップ

機能部が簡単に持ち上げるので、汚れのたまりやすい便器とのすき間をキレイにお掃除できます。



写真は空間イメージです。



エコカラットプラス

ニオイを吸着し、湿度をコントロール。
健康・快適・爽快なトイレ空間を保ちます。



大型壁リモコン

よく使うボタンを、大きく扱いやすくまとめ、わかりやすさ・使いやすさに配慮しています。



補高便座

今ある便器はそのままで便座面を高くでき、立ち座りの負担を軽減します。



棚手すり

手のひらやひじで体のバランスを支えることができるので、握力が弱い方でも立ち座りのサポートに使っていただけます。



肘掛け手すり(背もたれ付)

両側の肘掛けと背もたれで身体を安定させることができ、ライフステージに合わせて後付けできます。



はね上げ式前方ボード

前傾姿勢をサポートして、腹圧をかけやすく、座位の安定を保てます。

浴室

1日の疲れを癒し、ホッとできる場所。家族とのコミュニケーションの場でもある浴室。一方で、濡れた足元、急激な温度変化など、住宅の中でお年寄りの事故が多い場所もあります。さりげなく身体を支えられる工夫や、一旦、腰をおろして安全に体を洗えたり浴槽へ出入りできるアイテムなど、安心して入浴できる浴室空間づくりに取り組んでいます。



入口床段差解消

ドアの段差を低くして出入りをもっとラクに。つまづきや転倒を防止し、家族みんなに安心です。



キレイサーモフロア

浴室に入った時に足裏で感じる「ヒヤッ」を軽減し、子どもからお年寄りまで、安心して入浴できます。汚れを落としやすく、すべりにくい面材です。



薄型腰掛け付保温フタセット

いったん座ってラクに浴槽を出入りできます。



サポートパック

一連の動作がスムーズに行えるよう配慮しています。詳しくは、P.18をご覧ください。



握りバー

洗い場での動作や浴槽をまたぐ際など、身体のバランスを崩さないように、さり気なくサポートします。



エプロン高さ

浴槽またぎを考えたほどよい高さです。



写真は空間イメージです。



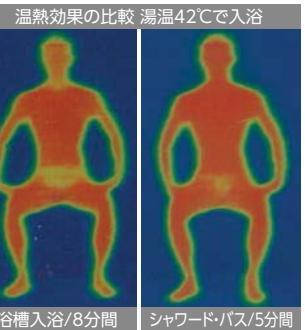
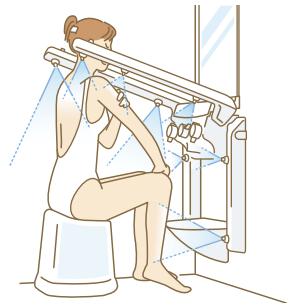
ベンチカウンター

浴槽への移乗や洗体時に腰掛けできるベンチです。腰掛け面はソフトな素材を使用したクッションになっています。



プッシュ水栓

ボタンを軽く「押す」「回す」だけでお湯の出し止めや量の調節ができる水栓です。



フランジ

しっかりと掴みやすい形状の浴槽フランジです。



浴槽内握りバー

浴槽に浸かる時や浴槽から立ちあがる時など、浮力で不安定になりがちな身体の動きをサポートします。

全身シャワー(シャワー・ド・バス)

シャワーだけで、お湯につかったように温まります。浴槽に入るのが大変なときも、足先までしっかりと温まります。

洗面化粧室

洗面化粧室では洗面、洗濯、脱衣やお化粧、ひげ剃りなど、さまざまな使い方をするので、スムーズに動ける動線の工夫とスペースの確保が重要です。

立って使う、座って使う、車椅子で使うなど、使う時の姿勢にも配慮した仕様を取り揃え、子どもからお年寄りまで、家族みんなが使いやすい洗面化粧台を提供しています。



写真は空間イメージです。



オープンタイプ(セミオープン・フルオープン)

カウンターアンダーや足が入るオープンスペースなので、椅子に座り、ゆったり腰掛けで使えます。
※画像はセミオープンセットです。



フェイスフルライト

ミラーの下までLED照明が配置されているので、小さなお子様や背の低い方の顔も、しっかりと照らします。



ソフトサイレンス

引出や扉が閉まる直前に自動的に引き込み、静かに閉まります。



タッチレス水栓

手を差し出すと自動で湯水が出るタッチレス水栓。



車椅子対応洗面カウンター

車椅子で使用の際、邪魔になりがちな足元の排水口位置を奥に設置。車椅子でも膝があたらないでラクに近づけます。

キッチン

キッチンは調理のための機能性や衛生管理などの安全・安心はもちろんのこと、準備から後片付けまでムダのないスマートな動作が求められます。

ダイニングと一体になったキッチンは、スペース・動線とも効率がよく、料理をしながら子どもの様子もわかつて安心。家族の笑顔が広がるキッチンを提供しています。

また、使用者の状態に応じ、立っての使用、椅子に座っての使用、車椅子での使用に考慮した様々な仕様を取り揃えています。



写真は空間イメージです。



オートダウンウォール

キッチン上部の収納がスイッチ操作で自動的に昇降。目の前まで下りてくるので、棚の上段も楽々出し入れできます。



ハンズフリー水栓

吐水口に内蔵されたセンサーが手や物を感じて吐水と止水を自動で行います。手を止めずに、快適に作業が行えます。



車椅子使用を考慮したキッチン

車椅子をご使用の方が、座ったままで作業ができるキッチンです。



らくパッと収納

扉が斜めに開いて、テコの原理で軽く引き出せます。開口部が広く、一目で必要なものが取り出せます。



パッと取手

指のかかりやすさ等、引き出しやすさに配慮しています。豊富な扉カラーから、視認性のよい組み合わせを選びます。



座っての使用に配慮したプラン

ニースペース付のキャビネットは、立ち仕事がつらくなったときに、座って作業できます。

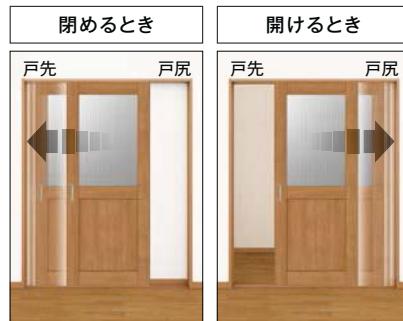
リビング

リビングは家にいる時間の大半を過ごす場所だから、家族みんながくつろげる空間に。段差をなくすことや、開閉時に出入りがしやすく指を挟まない扉など、安全・安心への配慮はもちろん、暮らしに合わせた収納ですっきり動きやすいスペースを確保することも大切です。

子どもからお年寄りまで家族みんなが安心して使うことができ、永く気に入って使っていただけるデザインの製品を提供しています。



室内建具



① Wソフトモーション機能

閉めるときも開けるときも自動的に本体が減速し、ゆっくり引き込まれます。閉め忘れ防止や指を挟みにくくする安全性に配慮した機能です。



② チャイルドロック（ドア・引戸）

子どもが届かない高さに両側から施錠ができる錠を設置できます。



③ プッシュ錠（引戸）

つまむ動作をなくし誰でも操作しやすいので、家族みんなにやさしい安心設計です。



④ 段差のない引戸

レールなどの段差がないので、つまずきにくく安心です。



安全性を考えたクローゼットドア 折れ戸

扉と扉の隙間を少なくし、指を挟みにくくしているので、小さなお子さまがいるご家庭でも安心です。



写真は空間イメージです。

窓



指はさみ防止

障子が完全に閉まる際にすき間を残した状態で部品が障子を固定するため、誤って指はさむ心配がなく、子どもの不意の事故を防ぎます。



大型把手・アシスト把手

握りやすいデザインの大型把手や、テコの原理で少ない力でも開閉できるアシスト把手で窓の開閉が楽にできます。



ノンレールサッシ

つまずきにくく、すべりにくい、安全設計のサッシ。すき間をふさいだフラット下枠を採用し、お手入れも簡単です。

収納



しっかり収納

暮らしに合わせた収納計画で、ゆとりあるスペースを確保すれば、すっきり動きやすく、のびのび過ごせます。

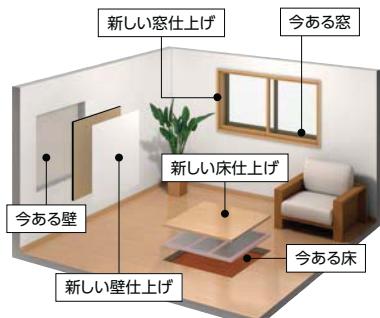
床



お手入れしやすい床

物の落下やキャスター付家具などによるキズの深さを軽減します。

断熱リフォーム



ひと部屋ごとのエコリフォーム

家全体ではなく、ひと部屋ごとのリフォームで、冬でも暖かなお部屋になります。今ある窓・壁・床の上からの住みながら簡単リフォームです。

階段・廊下 玄関ホール

出たり入ったり、昇ったり降りたり、ばたばたしがちな外出前後の時間。
滑りにくく・つまずきにくい工夫や、要所要所に手すりを設置することで、安心をサポートします。
さらに、深夜の歩行の安全に配慮した製品も提案しています。



写真は空間イメージです。



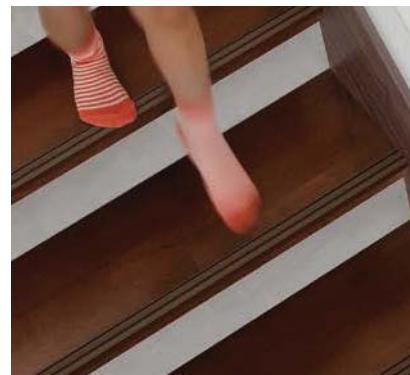
LED ライト付手すり

手すりに付いた LED ライトで足元の不安をサポート。今お使いの廊下・階段に取り付けることで、安心安全な空間へリフォーム可能な商材です。



明るさセンサー付足元灯

ほんのりした優しい光が足元を確実に照らし、深夜の歩行を安全に誘導します。



すべり防止付階段

踏み板の表面をすべりにくくしたり、さらに階段の角(段鼻)にやわらかい素材を使うなどで、万一の場合に配慮しています。



コーナー部も連結可能な手すり

階段折り返しなどのコーナー部も、手すりを連結させることができ。動線が途切れることなく、昇り降りも安心です。



壁の角を曲面にする部材

廊下の曲がり角などを曲面のある部材で保護するので、万が一人がぶつかっても安心です。



シートカウンター ベンチタイプ

靴の着脱時の腰の上げ下ろしをサポートします。

玄関ポーチ エクステリア

外出のときも、夜暗い中帰ってきたときも、晴れの日も、雨の日も、安心の配慮を。門扉や玄関扉の有効開口を大きくしたり、段差を小さくすることはもちろん、鍵の開け閉めを簡単にするシステムや、握りやすく移動しやすい手すりの形状など、安全で快適な製品作りにつとめています。



写真は空間イメージです。



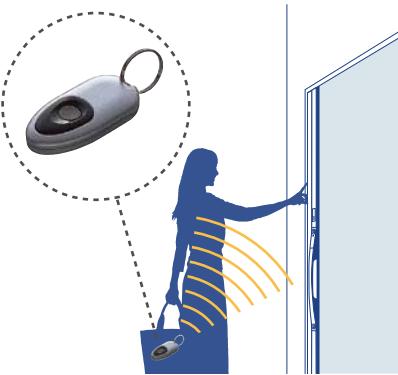
玄関引戸 袖付2枚引き

扉を3分割して開閉する「袖付2枚引き」。一般的な2枚建の引戸とくらべて、1.3倍の開口がとれるので、出入りがラクにできます。



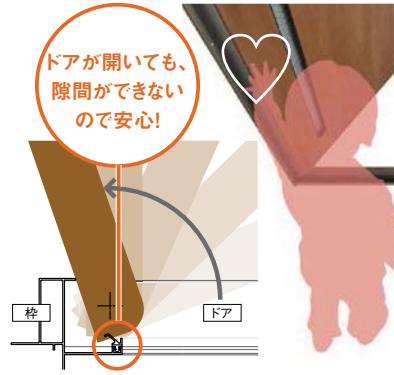
リニアスライドシステム

ハンドルを手やひじで軽く押し出す、あるいは近づくだけで自動で引戸が開閉します。車椅子の方だけでなく、荷物で両手がふさがっている時にもラクに開閉できます。



エントリーシステム

エントリーシステムの簡易タッチキーシステムは、カギを出さずにタッチするだけ。カギの開け閉めの煩わしさもありません。



キッズ・セーフティ機能

ドアを開けた時に吊元に隙間ができる「インナーピボットヒンジ」を採用。子どもの「指はさみ」事故を防止する安心構造となっています。



スライド門扉

ベビーカーや車椅子などの出入りも、段差によるガタツキがなく快適です。アプローチの奥行きが狭く、開き門扉が設置できない住宅にも適した門扉です。



ウッドデッキ

アプローチからウッドデッキへの動線にスロープを設置すれば、ベビーカーや車椅子で直接部屋に入ることができます。

パブリックトイレ

多様なユーザーが利用するパブリックトイレでは、広さやレイアウト、器具の仕様を配慮して、より多くの方が使えることが求められます。様々なユーザーのための機能を盛り込んだ多機能トイレが整備されてきましたが、広くて使いやすいうことから多くのユーザーが集中し、車椅子ユーザーが利用できないといった現象が目立つようになってきました。この状況を受け、2012年に国はベビーシートやベビーキープ、手すりやオストメイト*流しなどを備えた少し広めのブースを一般トイレに用意することで、多機能トイレに集中した機能を分散し、利用集中を緩和するという方針を打ち出しました。この方針に従い、より多くの人が安心して快適に使えるトイレを提案しています。

*人工肛門・人工膀胱保持者



写真は空間イメージです。



車椅子対応パブリック向けタンクレストイレ

衛生的な自動洗浄の大便器。便座までの高さが車椅子の座面高さと同じなので、ラクに移乗できます。手すりなどと組み合わせて、より安全に使用できます。



車椅子対応洗面器

アプローチのしやすさに配慮した右寄せ排水なので、斜めからもアプローチできます。また手の届きやすい吐水位置、肘や腕をのせやすい形状など、車椅子での利用のしやすさを考えました。



オストメイトパック

オストメイトの方がストーマ装具から排泄物を捨てたり、装具を交換するときに使用する流しに、手元で操作できる吐水口引き出し式の水栓や、片手で紙をカットできる紙巻器などがセットされています。一般トイレへも設置しやすいコンパクト設計です。



各種施設用可動式手すり

車椅子から便器に移乗するときや横から介助するときに便利な、はね上げられる手すりです。



大型壁リモコン

間隔が広く大きなボタンで、見やすさと操作性に配慮しました。



紙巻器

片手でラクに紙が切れるワンハンドカット機能付き。刃は樹脂製でケガをしないように配慮しています。

まち

より多くの人が利用しやすく、景観にも配慮した街の空間づくりをめざしています。すべりにくく、かつ、がたつきが少ない歩道用スロープタイルや、握りやすさを追求した手すりなど、まちのユニバーサルデザインに取り組んでいます。

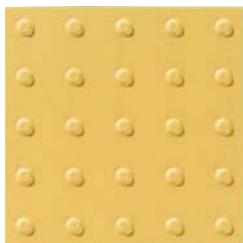


写真は空間イメージです。



スロープタイル

凸部高さを抑え、車椅子やベビーカーの走行時のがたつきを少なくした面状の、すべりにくい床タイルです。



視覚障がい者用床タイル

まずは周辺タイルとのコントラストを確保、さらに景観へも配慮した色の組み合わせを。黄色以外のバリエーションも用意、耐久性の高い素材特性は識別性を持続します。



サポートレールUD

卵型ビーム形状で使いやすさと心地よさを兼ね備えた、歩行補助手すりの新しいフォルム。色弱の方にとっても見えやすい色使いに配慮したカラーUDタイプもあります。

子ども用施設

子どもが使いやすく、成長に合わせた空間づくりをサポートします。



幼児用大便器(1-2歳児用)

1-2歳児用の高さの低い便器。すっきりコンパクトなデザインで、メンテナンスに便利な掃除口付きタイプもあります。また、3-5歳児用のやや高めの便器もあります。



幼児用便器(小便器)

足が小便器の下まで入るアプローチしやすい壁掛式の小便器です。年齢に合わせて設置高さを調節できます。



幼児用マルチシンク

子どもが手を入れやすい高さの吐水位置、ハンドル位置にしています。



幼児用シャワーパン

子どものおもしろい洗いや、夏季のシャワーに便利なシャワーパン。安定した姿勢で利用できる手すり付き。

製品の研究・開発

LIXIL ユニバーサルデザインの考え方やUDアイデアにあふれた製品の研究・開発を普及させるため、外部とのコミュニケーションも積極的に行ってています。

ユーザーと共に創る ユニバーサルデザイン視点の 開発プロセス

より多くの方が使いやすい製品をめざして、LIXILではユーザーによる検証を製品開発の過程で実施しています。

その成果の一例が、入浴をサポートするアイテム「フラットサポートバー」「腰掛け保温フタ」をセットにした「サポートパック」と車椅子対応キッチン「ウエルライフ」です。

●システムバスルーム

「サポートパック」の開発

当開発では、片マヒの方、膝に疾患のある方、健常高齢者の方に協力いただき、研究所と開発スタッフ、デザイナーが2年間掛けて検証を繰り返し、製品化に至りました。その際、全員がこだわったのは次の3点です。

①お湯を使うなど実際の入浴に近いテスト

環境とすること

②脱衣から洗体～入浴、退室まで『一連の動作』を見ること

③ユーザーの動作に合わせてその場で試作をつくり変えていくこと

開発に長く携わってきた者や、協力いただいた社外の専門家の方々にとっても新たなチャレンジであり、示唆に富んだプロジェクトとなりました。

●車椅子対応キッチン

「ウエルライフ」の開発

どうすれば座った姿勢でより快適に調理できるか。LIXILでは、実際に車椅子で料理する方の様子をさまざまな角度から研究。負担の大きい動作や移動を減らしムリなく作業できるよう、足元の形状やシンク・調理スペース・コンロの配置を工夫し、座ったままで使いやすい「ウエルライフ」が誕生しました。

システムバスルーム「サポートパック」の開発



動線をつなぐ「フラットサポートバー」



いたん座れる「腰掛け保温フタ」

スッキリした形状で、浴室内の横移動に最適です。握力が弱い方でも身体を支えられるよう手すりの上面をフラットに。握った手がぐらつくのを防ぐため、表面にもフラットな面を設けました。



足元に不安を感じる方もいたん腰掛けでラクラクに浴槽の出入りができます。使用しない時はたたんで収納でき、カンタンに取り外せるのでお掃除ラクラクです。



車椅子対応キッチン「ウエルライフ」の開発



JIS制定に関する取り組み

最近の公共施設やショッピングセンターのトイレは、設備も充実してきましたが、一方で、どこに何があるか分かりにくいといった問題も出てきています。

そこで、安全で快適なトイレ空間の提供を目的に、設備器具の使いやすい設置位置を規格化する産学共同研究に(INAX: 現 LIXIL)も参加しました。視覚に障がいのある方、車椅子使用の方、マヒをお持ちの方などさまざまな身体状況の方にご協力いただき、ひとりでも多くの方にとって使いやすい器具の配置の検証を繰り返しました。

この時の結果を元に、公共トイレにおける、大便器横の壁面に設置される紙巻器、便器洗浄ボタン、呼び出しボタンの配置基準を定めた「JIS S 0026^{*1}」が2007年3月に制定されました。

LIXILではショールームにおける多機能トイレの壁面配置を順次、JISを基準とすることで、必要な設備を整えるだけでなく、ひとりでも多くの人が使いやすい空間づくりを心がけています。



上左：車椅子使用の方の検証の様子
上右：視覚に障がいのある方の検証の様子



JIS S 0026^{*1}を満たす
壁面器具設置例



LIXIL ショールーム高松「多機能トイレ」

*1 高齢者・障害者配慮設計指針公共トイレにおける便房内操作部の形状、色、配置及び器具の配置

ユニバーサルデザイン空間検証の取り組み（ユニバーサルデザイン検証スペース）

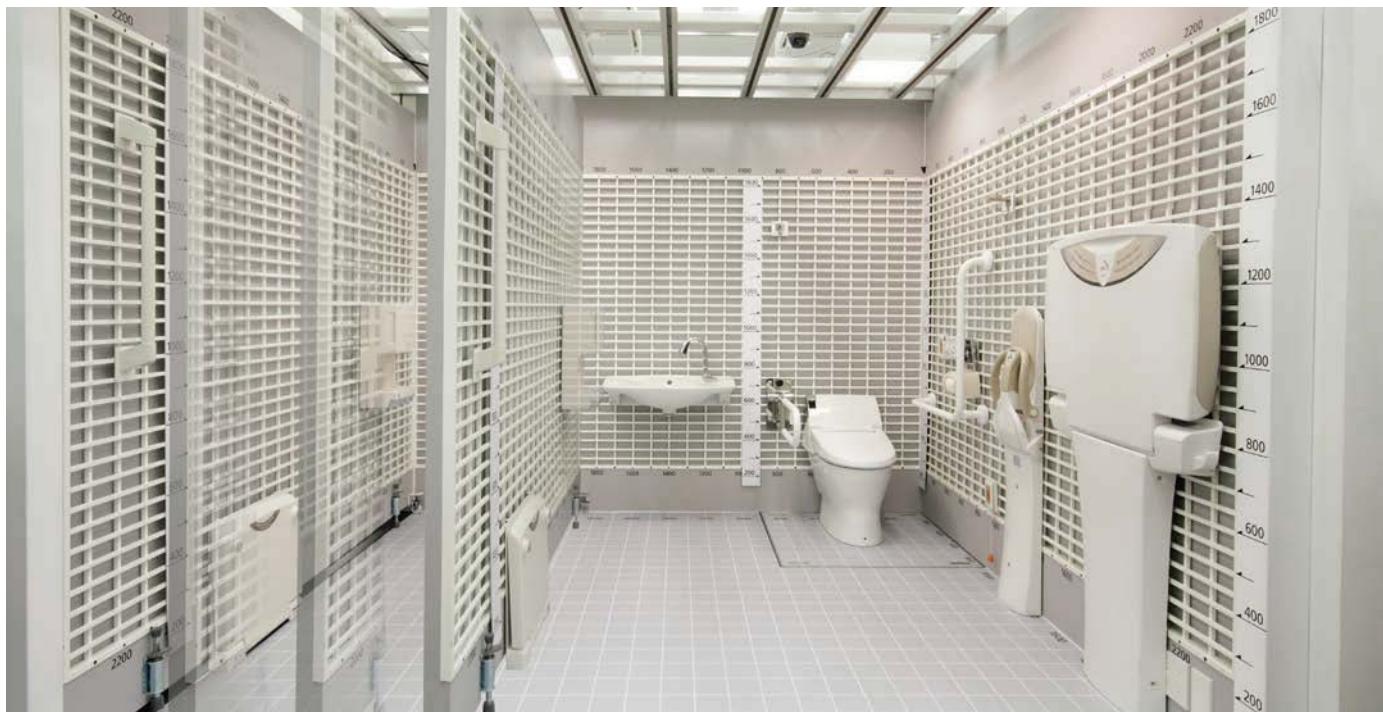
ユニバーサルデザインの空間を考える取り組みの一つとして、多様な検証ができる空間を設置し、ご提案や研究に活用しています。



ユニバーサルデザイン担当
高橋 邦長

「ユニバーサルデザイン検証スペース」とは

使用者の身体状況や建築（空間）条件などを踏まえ、さまざまなサイズの空間や製品の設置位置を確認することができるスペースで、シミュレーションを通して使いやすさの確認や分析を行い、ご提案につなげています。また、そこで得られた気づきやお客さまからのご意見・ご要望を研究や製品開発に反映するよう取り組んでいます。



1 空間サイズ・製品設置位置の検証

空間サイズの検証

サイズの異なる壁面パネルの組み合わせにより、さまざまな広さの空間、状況に応じた空間を構成することができ、トイレ検証スペースでは、住宅はもとより、高齢者施設の居室や共用トイレ、病院の外来や病棟トイレ、公共トイレの多機能トイレや広さの異なる一般トイレブースなどの使い勝手をさまざまなシチュエーションで確認することができます。

また、天井部に設置したカメラでのモニタリングにより、平面図を見るような感覚で、普段なかなか気づかない空間内での動きも把握できます。

製品設置位置の検証

製品の設置位置を可変しながら状況に応じた使いやすい位置を確認できます。製品単体での位置はもちろん、製品を組み合わせた時の状況や壁面と製品との距離感なども確かめられます。

また、トイレ検証スペースでは、大便器に座ったときの右壁面・左壁面の製品設置位置確認や、大便器の配置・高さの違いも確認できます。

洗面カウンター高さの検証

洗面検証スペースでは、洗面カウンターを昇降させることにより、使用者の体格や身体状況、使用状況に合った高さを確認することができます。

2 シミュレーション

体格に違いがある場合、大きな荷物をもっている場合、お子さまと一緒に使う場合、要介護者と介助者が同時に使用する場合や車椅子で使用する場合など、身体状況やシチュエーションの違いをひとつひとつシミュレーションしながら確認します。

製品だけでは補いきれない空間としての要素を落としこみ、使用者にとって使いやすい空間を考え、空間プランに反映します。

「いま」を改善するだけでなく、「これから」のことを考えてプランニングをしていくことが大切だと考えています。





3 検証データの分析

天井部に設置したカメラなどで検証の様子をモニタリング。製品の設置位置や空間サイズなどをトータルに確認でき、動線や動作範囲を考慮して分析します。



(車椅子から大便器への移乗の様子)

「血の通った」ユニバーサルデザインへの企業姿勢

数多くの家づくり業務にたずさわり、専門的な知識と現場での豊富な経験をもつ福祉環境アドバイザーの矢作さんに聞いてみました。

矢作 聰
やはぎ あきら

1960年埼玉県生まれ。「住まいづくりねっと」主宰。パリアフリー住宅に関する相談・提案を住まい手、つくり手の双方に行なうことをおもな活動とし、さらに、企業・団体・行政などへ高齢者や障がい者に対応した商品・サービスの開発・考案など、ソフト重視のサポートをユーザーの立場で展開中。



人とモノの位置関係が検証可能

このUD検証スペースでは、機器の高さや場所を自由に変えることができるので、使い勝手を納得いくまで体感することができます。カタログや図面で見るイメージだけではなく、実際に自分の目で見て、実際にふれて確認できるのが何よりの魅力ですね。

なかでも天井に設置したカメラでのモニタリングは、ほかにはあまりない機能で、これによって空間内での人とモノの位置関係がよりはっきりします。例えば、ひとくちに車椅子といってもたくさんの種類がありますし、ひとりで動かすのか、介助者がいるのかでも必要なスペースが違います。実際にいろいろな車椅子で、距離はどうなのか、どこに問題があるのかを、データとして検証することも可能です。

最近では、個々のユニバーサルデザイン商品の質はかなり良くなっていますが、それを空間内に配置したとき、全体としてはどうなのかを考えないとダメなのです。お客様の「こうしたいんだけどな」という想いを、リアルに再現できる場が必要なのです。

ユーザーだけでなく、設計者にも役立つスペース

使う人に合わせるという発想。それはユニバーサルデザインの考え方そのもので、この検証スペースには「もっとあなたの生活に近づきたい」という意欲を感じます。「形だけではない、もっと血の通ったユニバーサルデザインへ」という企業姿勢です。

それはユーザーだけでなく、設計者にも役立つ場になります。私は仕事柄さまざまな企業のお手伝いをさせていただいていますが、LIXILはそのあたりの感度がとても高いと思います。先をきちんと見据えていて、今後がさらに楽しみな会社だと思っています。

LIXILショールームのユニバーサルデザイン

全国にひろがるショールームでは、お客さまに安全・快適にご利用いただけるよう、ユニバーサルデザインに配慮したショールームをめざしています。

写真は現場例です。



駐車場

正面玄関近くに、車の乗り降りにゆとりのあるスペースを確保しています。



正面玄関

段差のない十分な広さの自動ドアを設置しています。自動ドアの接触防止対策としてガードスクリーンの設置を進めています。



キッズコーナー

お子さま連れの場合は、お子さまが遊べるスペースを用意。テレビや絵本、ぬいぐるみなどでお迎えします。



多機能トイレ / 出入口

段差のない十分な開口幅の確保と開閉しやすい引き戸を設置しています。



多機能トイレ / レイアウト

車椅子使用の方の動作スペースの確保、アプローチしやすく使いやすい製品の配置などを考慮してプランニングしています。



多機能トイレ / お子さま連れ配慮

小さなお子さま連れの際に使用いただけるベビーキープやベビーシートを設置しています。



多機能トイレ / オストメイト対応設備

オストメイトの方のパウチ交換、洗浄するための設備を設置しています。
(オストメイト：人工肛門・人工膀胱保持者)



多機能トイレ / JIS 配列の対応

目の不自由な方を含め、だれもが使いやすい器具配置（JIS S 0026「公共トイレにおける便房内操作部の形状、色、配置及び器具の配慮」）への対応を進めています。



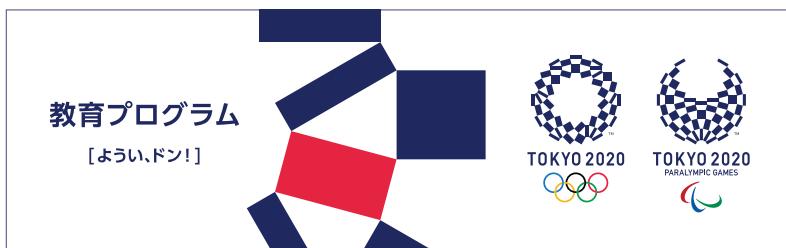
授乳室

お子さま連れでも、安心して納得いくまで見学・相談できるように、授乳室を用意しています。

「ユニバーサル社会」の実現のために、LIXIL ができること

LIXILでは、身边にあるユニバーサルデザインや、人の多様性に関する理解を深めてもらう授業やイベントを通じ、「ひとりにいい、みんなにいい」社会とはどんな社会なのか、ひとりひとりが学び、考え、アクションにつなげていきます。

心のユニバーサルデザイン（自分とは違う誰かを思いやり、配慮できる心持ち）



LIXILが取り組む「公認プログラム」

東京2020教育プログラム（よい、ドン！プログラム）とは、東京2020参画プログラムのひとつ。東京2020組織委員会が、スポンサー企業、政府、自治体、様々な機関等と連携・協働し、若い世代を鼓舞する取り組みを一体となって行うものです。LIXILは「ユニバーサル・ラン〈スポーツ義足体験授業〉」と「出前授業“ひとりにいい、みんなにいい”」の公認プログラムに取り組んでいます。

多様性を理解して 互いを受け入れることを義足アスリートと学ぶ 「ユニバーサル・ラン〈スポーツ義足体験授業〉」

「多様性の尊重」への理解を深めるため、2017年4月より全国の小中学校を対象に「ユニバーサル・ラン〈スポーツ義足体験授業〉」をスタートしています。この授業では、自分とは遠いと思っていた存在を実際に感じ、理解を深めます。だれもがカラダを動かすことに喜びを感じられるような社会づくりを目指しています。

※義足アスリートが参加しない場合もあります



体験用の義足で歩行を体験、
座学で義足やユニバーサルデザインについて学びます。

未来世代のために。社員が講師となる 出前授業「ひとりにいい、みんなにいい」

子どもたちにとって、高齢者や障がい者は自分とは違う人たちと捉えがちです。家や街など身近にある「ユニバーサルデザイン」を知ることで、年齢、性別、国籍、障がいの有無などの多様性に関する理解を深め、自分たちができるることを考え、行動する力を身につけるきっかけを提示しています。また、社員が授業の講師を務めることで、地域社会との関わりを深め、未来世代への責任について学び、貢献していくことを目指しています。



モノのユニバーサルデザイン（多くの人の使いやすさなどを配慮した製品の考え方）



LIXILでは、人びとの暮らしに寄り添い、快適な暮らしを実現するために、様々な視点からのアイデアを取り入れたユニバーサルデザインのものづくりを進めています。

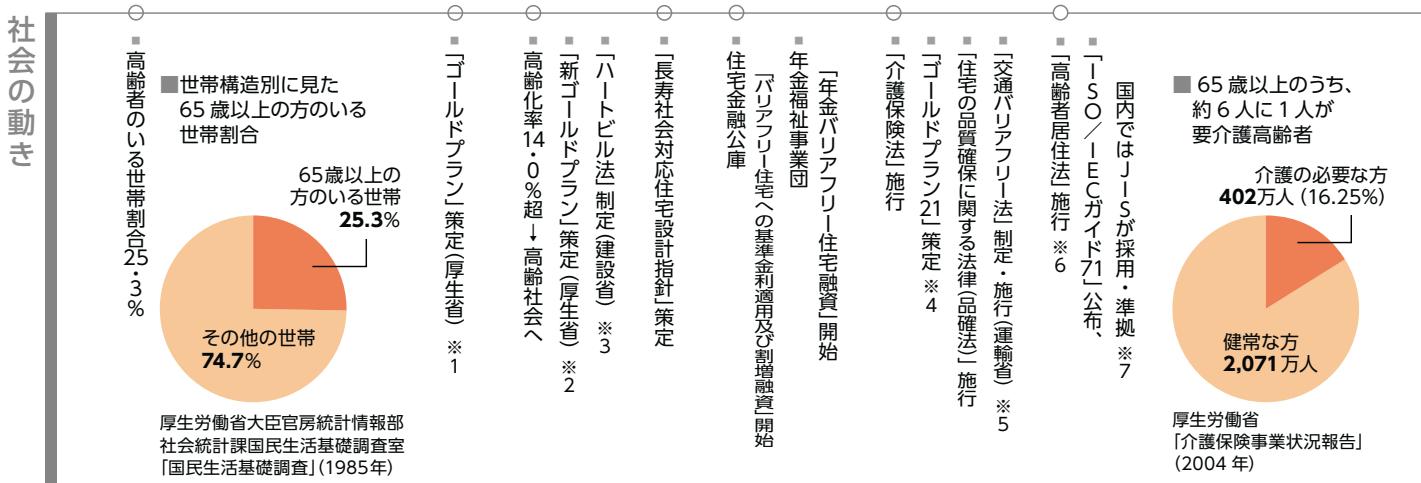
例えば、お客さまと直接お話しできる展示会等のイベントでは、製品開発の担当者も説明員として参加し、ご意見をお聞きしています。お客さまと直接お話しする中で生まれる気づきを大切にし、製品開発に生かしています。

LIXILユニバーサルデザインの歩み

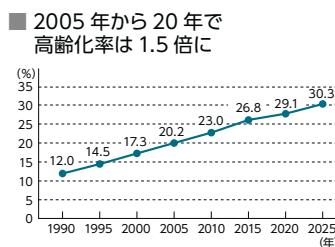
ユニバーサルデザインの取り組みの第一歩は、40年前の「障がい者用便器」(INAX)の開発でした。お客さまの声、社会の要請に応え、ひとつひとつバリアフリーの器具を完成させていく個別対応の現場を重ねるうちに、より多くの人が使いやすい「共用品」づくりの必要性を強く感じていました。

2011年からLIXILとなったことで、より幅広い製品・空間・サービスに対し、ユニバーサルデザインの考え方を展開できるようになりました。

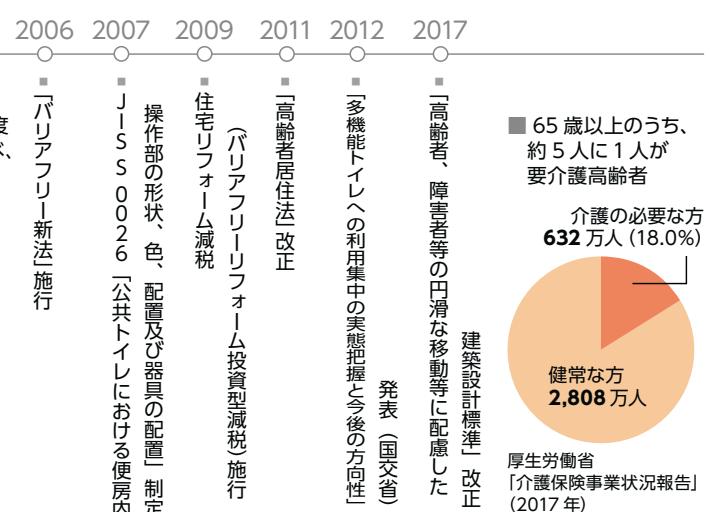
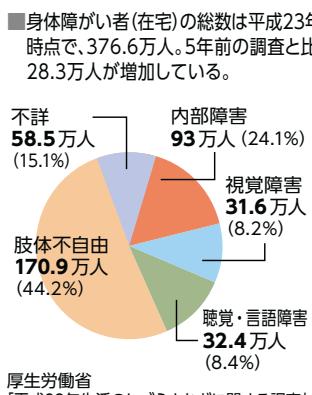
これまでの歩みを財産に、これからもユニバーサルデザインの取り組みを一步一歩すすめていきます。



- ※ 1 高齢者保健福祉推進十力年戦略
- ※ 2 新・高齢者保健福祉推進十力年戦略
- ※ 3 高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律
- ※ 4 今後五力年の高齢者保健福祉施策の方向
- ※ 5 高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律
- ※ 6 高齢者の居住の安定確保に関する法律
- ※ 7 規格作成における高齢者、障害者のニーズへの配慮ガイドライン
- ※ 8 JIS S 0026「公共交通機関における便り内操作部の形状、色、配置及び器具の配置」



2010年までは総務省統計局「国勢調査」
2015年以降の統計は、
国立社会保障人口問題研究所
「日本の将来推計人口」(2014年1月推計)





地球環境のためにLIXILは
業界トップランナーとして
先進的な取組をしていきます。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

業務用 XW8000 01 2018.9.1 発行

